土岐（とき）・運（めぐり）・来（きたる）

会報「土岐・運・来」第 36 号
発行　自然・馬・人の会
発行日　2008 年 11 月 9 日
正会員　６３家族
協力会員　３４家族
賛助会員　１家族

乗馬と麗奈

貝嶋麗奈。１６歳。横浜市にある訓盲学院に通う高校１年生の女の子です。

麗奈は１歳１０ヶ月の時にヘルペス菌による髄膜脳炎にかかり、その後遺症で全盲ろうのになりました。麗奈が始めて乗馬を体験したのは、盲ろうになって１年ぐらいたった頃、マザー牧場だったと記憶しています。この頃はとにかくおとなしくしていることがなく（今もそう変わりはありませんが・・・）、とにかく高いところへ登ることが好きでした。乗馬と言っても、馬の背に直接乗ることはせず、一緒に乗った私の上に乗っていた状態で、本人は馬の存在には全く気付いていなかったかも知れません。そんな麗奈でしたが、小学４年生の頃からこちらの会でお世話になることになりました。

初めは、かんしゃくを起こして乗れないこともしばしばありましたが、辛抱強く対応していただいたおかげで徐々に乗っていられる時間も長くなり、今では人並みに乗ることができるようになりました。情報障害である盲ろうということをきちんと理解いただき、次の動作の予告をサインという形を導入するなど、それぞれ個々の障害状態にあった対応は大変ありがたく感謝しております。今の課題はいかに乗馬を楽しむようになれるかです。おかげさまで、馬に乗ることへの抵抗はなくなりましたが、楽しんでいるとは決して言えない状態です。盲ろう者にとって、楽しむことができるのは乗馬のような参加型のイベントであり、何とかその楽しさを理解できたらというのが切なる願いです。

その時その時で、麗奈が興味をもつものが変わりますので、いずれ動物に対して興味が向くことを期待しています。これからも宜しくお願いいたします。

横浜市　貝嶋信之

１０年目の乗り手

　初めて乗馬会に参加したのはいつか忘れてしまうくらい長くお世話になっています。息子はダウン症ですが、今年養護学校の高等部一年生になりました。小学校入学の頃から参加していますので、もう十年です。最近は「つくし」に騎乗していますが、一人で乗り降りも出来る様になり、私も安心して見ていられるようになりました。でもまだ人参をあげるのは怖いようです。乗馬会はいつも楽しみにしているのですが、お出かけして食事をするのとセットになっているのでどっちが目的か微妙です。まあどっちも楽しみなんでしょうが・・・・
また会の皆さんやボランティアの皆さんの熱心さにはいつも頭が下がります。感謝しながらこれからも参加させていただきます。いつもありがとうございます。　　青木宏憲の母

外郎売の口上

　外郎売の口上は約300年前の江戸の享保年間に二代目市川団十郎によって作られたものです。口上は音声表現として、日本語が持っている色々な可能性を極めたものであります。言葉の面白さ、言い回しの面白さがあふれています。この口上の持っている文化的、歴史的意義も小田原を再発見する契機となります。また口上を練習し自分のものにすることは、日本語を伝達のよりよき道具とする場となります。そして口上それ自体が小田原を語るためのよき道しるべとなってくれるものです。小田原にいてこの外郎売の口上を知ることは、小田原を知ることであり、日本語をよりよき道具とし、小田原を外に向けて発信することです。いまここに小田原大会と銘打って外郎売口上大会を開くのは、小田原の人に、特に子供たちに外郎売の口上に触れてもらいたいからです。小田原という町に今までとは違った形で触れ、自分のものにしてより大きな世界に飛び出してほしいと思うからです。

　また外郎売の口上大会を小田原で開催することで、ういろうといえば名古屋を連想する今の状況に大きな変化を期待できます。そして、演劇、放送関係ではよく知られている外郎売の口上を一般の人にも周知することができます。そのことで全国からの大会参加者や観客を動員でき、観光、商業振興に寄与すると思われます。また古典文化に縁遠くなっている人たちにも日本の古典文化に触れる機縁となります。特に子供たちにとって声を出すという文化の再発見は素読という文化を持っていた日本の文化に大きく寄与できると思います。それは市川団十郎という歌舞伎役者が約300年前に日本に残してくれた日本の財産だからです。
桜井広利

木曽馬 新聞

発行日　08年7月7日
発行元　木曽馬の会
文責　上澤　幸子
会長　金窓 裕太朗(H3-1

「自然・馬・人の会」というボランティアの会の研修に参加し、山梨県の紅葉台、木曽馬牧場（新松田駅から1時間半くらいの所。現在、OBの上澤佑季が住み込みで、仕事の研修を受けています。）へ行って来ました。

6月22日（日）朝8時に新松田駅に集合。
曇り空。今にも雨が…「カッパと長靴を準備！」と言っておいたのに、持参したのは…
現地に着いたら ドシャ降りで、皆、びっしょり!!
にもかかわらず、外乗に、午前、午後と2回も出掛けた、意欲あるメンバーの事をどうぞ。

★仲間になろー！★
せっかく木曽馬に関わっているのだから
もっと馬の事、ホースセラピーの事、
馬を使った活動の事（流鏑馬やゆ小中の訪問etc）
分かったら楽しいかも！ってことで
勉強会を始めてみました!!
ちょっとでも興味のある人、
3階 社会科室をのぞいて見てネ。
毎週金曜日の放課後やってます！

ふじさん

YOU KI SO UMA NI NO TTA YO

紅葉台で木曽馬に乗ったよ

山梨

Let's GO 散歩 外乗

ば ぼ う

ば ぼ う

ば ③ ぼ う

ば ぼ う

⑤ ④ ばぼう

ば ぼ う

❤研修会 感想❤

①鳳龍♀（ゆうり）

雨が降っていて、動きにくかったけど、初めて乗ったわりには馬が言うこと聞いてくれたので楽しかったです。

②紅鹿毛♂（市来）

雨が降って大変だったが、うまく動かせてよかったです。次もがんばりたいです。

③長尾くん♂（牧嶋）

雨が降っていたけど馬に乗るのは、すごい楽しかった。馬によって乗ってる感覚が違って面白い。

④恵山♂（田代A）

雨の中大変だったけど、サドルバックと行った ると ころの馬の比較を出来て良かった。楽しかった。

⑤藤風♂（五月女）

周りの人達が優しくて馬装から、ていねいに教えてくれたのでよく覚えられた。散歩もよくできました。

⑥力♂（金ちゃん）

サドルバックの馬とは違うので乗りにくかったです。又乗りたいです

⑦宝春♀（幸子）

私が乗ったのは紅葉台で一番の大ばあちゃん馬。よわが年かっこで人の子を見て草を食べるのが上手。と思ったら、乗り手が「トロイ」と馬が見抜いたそうだ…

流鏑馬の走路

ボロ置き場

好ぼう丸馬場

トイレ

事務所

ばぼう

① ② ⑥

ばぼう

⑦ ばぼう

ワラブハウス

Welcome!! IN 入り口

※この見取り図と馬たちの人物絵は、H科OBの上澤佑季が現地からFAXして

参加メンバー（7名）
・金窓 裕太朗（H3-1）
・小澤 祐理（L2-1）
・市来 真奈美（H3-2）
・五月女 達也（L3-2）
・牧嶋 和也（H科OB）
・田代 彩（H科OB）
・上澤 幸子（08佑季の母）

●7月の予定●
3日 ▷▷▷ 片瀬中訪問
4日 ▷▷▷ 学校で新聞づくり
6日 ▷▷▷ 小田原城 乗馬会
11,18日 ▷▷▷ 学校で勉強会
12日 ▷▷▷ サドルバック 流鏑馬カット&手伝い
19日 ▷▷▷ サドルバック牧場
（未定）▷▷▷ サドルバック 馬 寺子屋手伝い

★6月の活動報告★
1日 ▷▷▷ 小田原城 乗馬会
6,13,20日 ▷▷▷ 学校で新聞作り、打合せ
15日 ▷▷▷ 北区 乗馬会（2名限定）
21日 ▷▷▷ 開成町 流鏑馬手伝い
22日 ▷▷▷ 山梨県紅葉台 研修会
27日 ▷▷▷ レストランにて親睦会&打合せ
28日 ▷▷▷ サドルバック 馬 寺子屋手伝い
29日 ▷▷▷ サドルバック牧場

サドルバックの若手 クロタカ

「道産ポニー
（お父さんが道産子、お母さんがポニー）
Ｈ１６年３月３日の北海道生まれ
青毛、小星（額に白い星かある）
人が好きな血筋ですが、体格や足が
ポニーの母さんの血を引いてきゃしゃな
為、体重の軽い大人か子供だけの担当に
しています。
また、今はひき馬だけですが、今後は調教
をして手綱で乗れるようになります。」

会の活動を広めるために、仕事関連のイベントなどに会のＴシャツを着て行っています。このイラストが大好評で、欲しいという人も多く、また、これを見て自分たちの会のＴシャツを作ることにしたというグループもいます。
Ｔシャツを作ってくれた皆さんありがとう。　　やぎ

定期乗馬会の予定
１２月　７日（日）
１月１８日（日）

お願い
私達の会の運営は皆さんの会費だけではなく、助成金、寄付金を得ることによって１０年間続けることができました。今年は去年までの大口の助成金が得られなくなり、このままですと会費・研修費の大幅な値上げをしなければいけません。助成金・補助金情報をお知らせください。

後援：小田原市
助成・寄付等：ボランティアグループ等活動団体助成金(社協)、ともしび基金果実事業、富士ゼロックス端数クラブ、㈱富士ゼロックス、パルシステム神奈川ゆめコープ、日本スポーツカード協会

「自然・馬・人の会」会長桜井広利
〒250-0045　小田原市城山１－３－２２
TEL0465-32-1308　FAX0465-32-1332
E-mail　na-nhp@wb3.so-net.ne.jp(中村)
HP　http://shizen-uma-hitonokai.la.coocan.jp